

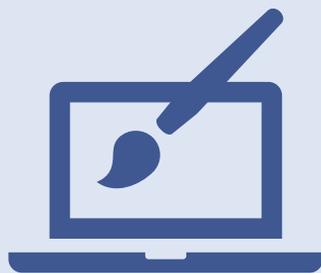
秋田県内 I C T 企業における D X 先行事例の紹介

DX Case Study

FY2023



Computer Graphics × 文化



CG技術で文化財を未来へ。



実施企業	スリー株式会社 (English : THREE Co., Ltd)
代表者	奥村 裕之
住所	本店：〒017-0012 秋田県大館市釈迦内字釈迦内121番地 東京営業所：東京都中央区築地1-4-8-901 (株式会社sogno 3D+ONE事業部内) サテライトオフィス：秋田県大館市上代野字上代野5-1 MOROK-2F バーチャルオフィス：バーチャルオフィス (Gather)
資本金	10,000,000円
設立	2019年4月25日 (現在6期目)
事業内容	クリエイティブの企画・制作、DX (デジタルトランスフォーメーション) の支援、XR (VR/AR)のワンストップ提供、エクスプレス パース事業
ビジョン	DXで便利に、地球に暮らす
企業概要	代表の奥村氏は2019年、結婚を機に奥様の実家がある大館市へ移住。同年には3DVR (3次元仮想空間) の撮影や360度パノラマ動画像などを制作するスリー株式会社を設立。大館市に生活拠点を置きながら、東京でも事業を行う二地域居住の実践者。スリー株式会社では、今後要望に応じて撮影したデータでVRコンテンツを制作するサービスを本格的に始める。文化財など歴史的建造物や観光名所などを撮影し、3次元 (3D) で記録することで災害時の修復や観光誘客にも役立てる。



取組背景と目的

- ・頻発する自然災害で貴重な文化財建造物が多く破損する中、改修記録や建具の意匠などの情報が不十分で復旧が難しい。
- ・秋田県の有形文化財（52件）保存データのアップデート（現在の状態の記録）を行っているものはなかった。
- ・恒久的に文化財を保存、活用するため、新たな保存法や活用法の検討が必要。

実施内容

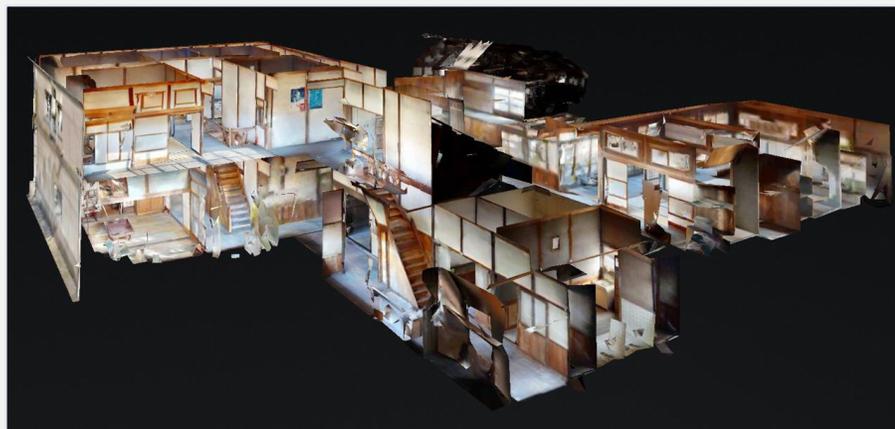
- ・最新360°カメラで文化財を撮影し、CG技術を活用しながらバーチャル空間に文化財の現況を保存する。
- ・保存データを活用し、バーチャルコンテンツを制作。情報発信や教育への新たな活用方法を検証する。

活用した技術／本プロジェクトのポイント

- ・最新の360°カメラを使用し「空間周遊データ」、「CGデータ」、「パノラマデータ」、「BIMデータ」を取得。バーチャル空間を生成する。
- ・「デジタルアーカイブツアー」として保存データを公開し、WEB上で文化財の見学が可能に。

成果

- ・新たな保存法の有効性を確認。バーチャルコンテンツも教育現場等で好評であり、引き続きの運用とビジネス展開を前向きに検討。



秋田県内 I C T 企業における D X 先行事例の紹介 -2024.05.22-



株式会社フィデア情報総研

リサーチ & コンサルティング事業本部
地域政策コンサルティング部

【本社】〒010-0951 秋田県秋田市山王三丁目4-23
TEL: 018-883-0200

【秋田事業所】〒010-0001 秋田県秋田市中通三丁目1-41
TEL: 018-837-1727